



入門期の指導に欠かせない練習帳

ひらがな・かたかな

【刊行物の特長】

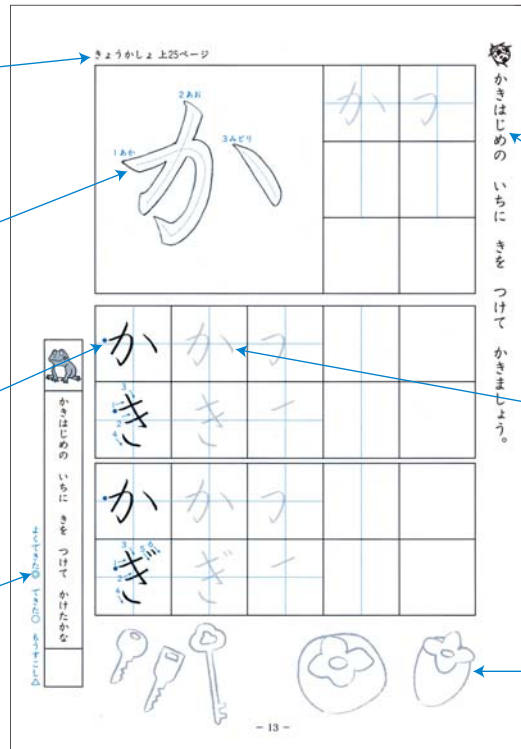
- ◆ 「ひらがな」「かたかな」を、基礎・基本から学べます。
- ◆ 練習文字が、国語の教科書（東京書籍）に出てくる順番に配列されています。
- ◆ 筆順や大切なポイントを示して、形のよい字が書けるよう工夫されています。
- ◆ うす字、中心線などを入れたマスを設け、段階を踏んだ練習ができるよう工夫されています。
- ◆ ページごとに学習のめあてを明示し、めあてに応じた自己評価欄を設けてあります。

◇教科書に初めて出てくるページを示しています。

◇初出の字を大きく示し、指でなぞる練習から始めます。

◇学習のめあてにそって、注意するポイントを青の記号で示しています。

◇学習のめあてに対応した評価欄に、よくできた◎、できた○、もうすこし△で、自己評価します。



◇このページの学習のめあてを示しています。練習をする前に確認します。

◇うす字と中心線が印刷してあります。手本をなぞる練習から始めます。

◇カットは、運筆の練習やぬり絵として活用できます。文字の練習が終わった子から取り組みましょう。



◇使用された先生方の声

- ・練習文字が教科書の新出順に配列されており、使いやすい。書写と組み合わせ使っている。
- ・かたかなは、教科書の扱いが簡単なので、練習量が増えてありがたい。
- ・カットは、なぞりや色塗りができるので、興味をもって取り組んだ。
- ・学習のめあてがわかりやすく、一年生でも意識しやすい。

<「ひらがな・かたかな」の学習内容の例>